

精度±0.05mmに

タッチパネル 張り合わせ装置 FUKが開発

FUK(奈良県御所 45・63・0101)は第一実業と共同で、ワゴン(OGS)型タッチ

パネルの張り合わせ装置(写真)を開発し、発売した。FUKの大気中ガラス張り合わせ機構を採用した。タッチセンサー機能を搭載したカバーガラスと液晶モジュールを、紫外線(UV)硬化樹脂で張り合わせる。価格は4000万円前後。液晶モジュール上に液状のUV硬化樹脂を塗布し、その上に両端を保持したカバーガラスをセツ

トして片側から下ろしつつ、張り合わせローラーで押さえる。ガラスのたわみを利用し、気泡を排



除しながら0.1mm・0.5mmの一定の厚さで接着樹脂層を形成する。カメラによる画像調整機能により、張り合わせ精度が±0.05mmを実現した。マシンサイクルタイムは1パネル当たり約40秒。

OGS型タッチパネルは1枚のガラスで保護カバーとタッチパネルの役目を兼用させる。スマートフォン(多機能携帯電話)やタブレット端末(携帯型情報端末)の軽量化、薄型化を図れる。